

【注意事項】

□投与前および投与中は、定期的に心電図、心エコー等を考慮する。

□サークリサ投与中は間接クームス試験が偽陽性になる可能性がある（サークリサが赤血球上のCD38と結合するため）

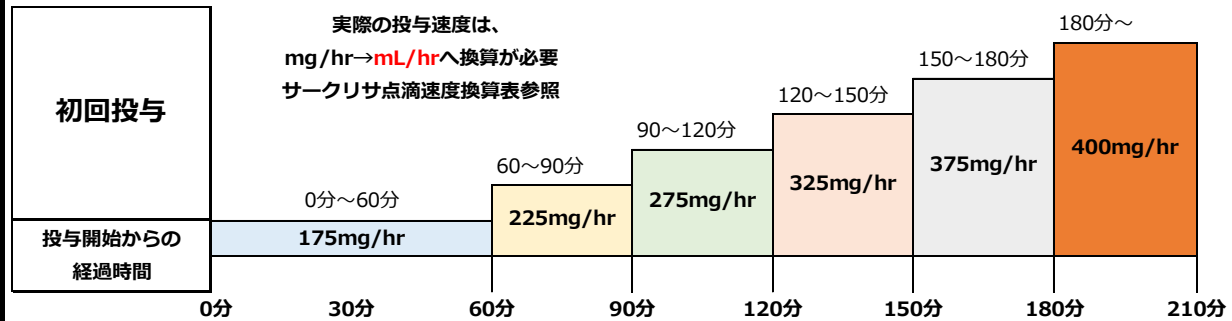
□サークリサ投与前に不規則抗体のスクリーニングを含めた一般的な輸血前検査が望ましい

□サークリサによる間接クームス試験の干渉を回避するためには、ジチオスレート(DTT)処理を考慮すること

【点滴速度】 点滴速度(mL/hr) = 下記投与速度(mg/hr) × 25 / 体重(kg)

●下図の投与速度に従って点滴静注する。

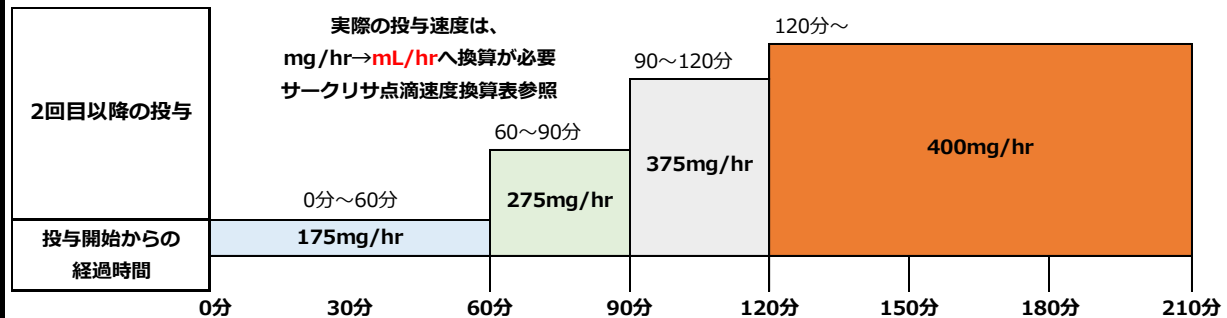
インフュージョンリアクションを認めない場合は、投与速度を段階的にあげることができる。



●初回でインフュージョンリアクションがなかった場合は、2回目以降は

さらに投与速度をあげることができるが、

必ず 175mg/hrの投与速度から開始し、段階的にあげる。



●インフュージョンリアクションが発現した場合、Grade 2はGrade1 以下になるまで休薬する。

●症状が改善した場合は、87.5mg/hr の投与速度で再開する。

●再開後もインフュージョンリアクションの再発がなかった場合は、慎重に投与速度をあげることができる。

